

# セクシャルマイノリティへの理解

**LGBT**という言葉聞いたことがあるでしょうか？同性愛者、両性愛者、性別越境、性別違和など性的な少数者の総称として使われる言葉です。

ある日、友人や知人に「自分はゲイである」と告白されたら、あなたはどのように対応しますか？「ああ、そうなんだと・・・」と答えても、続けて言葉は出にくいのではないのでしょうか？セクシャルマイノリティとはどのような人たちであるかは、

まだ正しい理解が広まっていないのが現状です。

お互いを尊重し合うためにも正しいセクシャルマイノリティの知識を持っていただければと思います。



## ● 性別とは

男と女という身体的なものだけでなく、社会的に役割を期待される性別を「**ジェンダー**」と呼び、個人の性的な事柄の性別を「**セクシャルリティ**」と呼びます。つまり、性別は「身体的な性別」「社会的な役割の性別」「個人の性対象の性別」の3つに分けることができます。

### ◆ ジェンダーとは

ジェンダーはここ最近でよく聞く言葉で、いわゆる「男性らしさ」「女性らしさ」の基準イメージです。「男だから仕事を頑張るべきだ」「女だから料理が上手になるべきだ」といったイメージは、ジェンダーによる偏見の典型例です。

### ◆ セクシャルリティとは

セクシャルマイノリティを正しく理解する上で大切なのは「セクシャルリティ」です。セクシャルリティは1つの物差しで計れるものではなく、以下の3つの項目の組み合わせによって定義されます。

**セクシャルリティ = ①身体の性別 + ②心の性別（性の自認） + ③誰を好きになるか（性の対象）**

①身体 の 性 別・・・男性か女性か

②心 の 性 別・・・身体の性別に関係なく、自分で自分の性別をどう認識しているか

③誰を好きになるか・・・恋愛感情がどちらの性別にあるのか

①②③の組み合わせによって決まるセクシャルリティには無数のパターンがあります。

## ● 誤解と偏見

セクシャルマイノリティの方は趣味嗜好で同性が好きであるとか、育った環境が悪いとか、精神病であるとか、そういった誤解や偏見がありますが、まず、病気ではありません。また、趣味嗜好でも、親の育て方や周りの環境でそうなるわけありません。したがって治療や矯正の必要はなく、そもそも出来ません。セクシャルマイノリティは自身でそうなりたいと決めたものではなく、人として生まれたときに決まっている性質です。

## ● その人の生き方として受け入れる

同性愛などに嫌悪感がある人々は、セクシャルマイノリティをアイデンティティの問題ではなく、色事の問題として切り離したがります。色事であれば「そういった事はやめなさい」と言えるからです。セクシャルマイノリティは前述したとおり、「その道に走った」ということではなく、生まれつきそうであるということであり、尊重すべきその人の生き方そのものなのです。

例えば、日本人に生まれたことに疑問をもったとしても、日本人という血を変えることができないのと同じです。

私たちが生きていく上で、何が好きで何が嫌いという価値観が生まれ、その価値観の違いで争いや差別も生まれます。

自分の価値観を無理に変える必要はないですが、他人の価値観を否定するのではなく、受け入れて認めるという寛容さが価値が多様化している現代をより良くするための考え方だと思います。